

鳴門教育大学（3） STEAM教育を使えると、教師は「科学者&芸術家」に進化できる！

1 目的
教科横断、STEM教育、STEAM教育についての理解を深め、授業デザインと教育実践へのヒントをつかむ。

徳島教育大綱及び徳島県教育振興計画（第4期）との関連について
重点項目V-推進項目15-⑩教員の安定的な確保と資質向上に向けた取組
【関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目】

授業実践力「A 授業力・学習指導」「A カリキュラム・マネジメント力」「B 授業構想力」「C 授業実践力」「D 授業省察力・改善力」

2 主催
鳴門教育大学、徳島県教育委員会

3 期日
令和8年7月23日（木）

4 会場
鳴門教育大学 地域共創棟 1階 多目的教室

5 対象者
(1) 職種 教職員
(2) 校種 幼保・小・中・高・中等・特
(3) 定員 20名

6 内容
(1) 教科間の関係性と教科横断の考え方についての講義と実習
(2) STEM教育とSTEAM教育の基礎についての講義と実習
(3) STEM教育とSTEAM教育の実践例と課題についての講義と実習

7 講師
鳴門教育大学 高度学校教育実践専攻 教育探求総合コース（理科教育コース兼任） 特命
教授 胸組 虎胤

8 日程
9：30～9：50 受付（地域共創棟 1階 多目的教室）
9：50～10：00 開会、イントロダクション
10：00～12：00 講義「教科間の関係性と教科横断の考え方」とその実習
内容 教科間の関係性と教科横断の考え方についての講義を行
い、数学・物理・化学・生物・地学の関係から、これらの下層にある芸術的感性、言語につ
いて、また上層にある技術科、家庭科、保健・体育科、社会科等との関係について考え
方まで実習を行う。
12：00～13：00 昼食
13：00～14：30 講義「STEM教育とSTEAM教育の基礎」とその実習
内容 STEM教育とSTEAM教育の定義と歴史、およびSTEM
教育とSTEAM教育での教科分野間の統合に関する講義を行い、簡単な実習を行う。
14：40～15：50 講義「STEM教育とSTEAM教育の実践例と課題」と実習
内容 STEM教育とSTEAM教育の違い、実践例、課題につ
いての講義を行い、授業デザインに関する簡単な実習を行う。
15：50～16：00 リフレクション、閉会

9 準備物
筆記用具

10 その他
(1) やむを得ず欠席する場合は、あらかじめ管理職（緊急の場合は本人）が担当者まで電話連
絡し、管理職は、速やかに欠席届（PDF形式）をメールに添付して提出してください。送付
は、学校代表メールアドレスもしくは管理職のメールアドレスから行うようにしてください。欠
席届の様式は、Plantの該当研修のページ又は、総合教育センターのWebサイト（令和8年度研
修講座一覧「とくしま教職員研修」33ページを参照）からダウンロードできます。

【送付先】〔教諭、栄養教諭、学校栄養職員〕

総合教育センター教職員研修課
kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp

※県立学校は、学習系端末（外部メール）から提出してください。

〔養護教諭〕

体育健康安全課
taiikukenkoanzen@g.tokushima-ec.ed.jp

※県立学校は、学習系端末（外部メール）から送付してください。

〔幼稚園教諭、保育教諭〕

徳島県教育委員会義務教育課
gimukyoiiku_1@g.tokushima-ec.ed.jp

(2) 研修当日、午前7時の時点で研修会場を含む地域（鳴門教育大学の場合は「鳴門市」地
域）に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止しま

す。後日、振り替えて実施することはありません。

※公立幼稚園及び公立幼保連携型認定こども園は、所管の市町教育委員会又は児童福祉担当部局へもメールに添付して提出してください。

(3) 研修当日、出発地又は研修会場までの経路を含む地域に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表されたことにより旅程に支障がでる場合は、管理職を通して電話連絡してください。欠席の場合は(1)の手順に従ってください。

(4) 研修にふさわしい服装で参加してください。

(5) 昼食は近辺でとるか、各自で御準備ください。大学食堂も御利用いただけます。

(6) 本研修講座は、ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

《担当者》 教職員研修課 指導主事 新久保 諭 088-672-6419